

やさおの水道について知ろう!

第4回

地震が起きたらどうなるの? (地震対策編その1)

前は、水道水を家庭や事業所に送るために必要な配水管について学びました。

今回は、地震が起こったときの備えについて学んでいきましょう。



大きな地震が起こったら水道水はどうなるのかな?



地震の大きさによっては、道路に埋められている管が壊れてしまう恐れがあります。水道部では、地震に強い管への切り替えを順次進めていますが、切り替えが終わっていないところもあります。この管が壊れると、蛇口から水が出なくなり、お風呂やトイレが使えなくなってしまいます。



管が壊れてしまったら大変だね。
水が使えない間は、どうしたらいいの?

管が壊れて市内が断水したときのために、配水池という大きなタンクや地震に強い貯水槽の中に水道水を貯めています。
災害時には、この水道水を皆さんで使っていただくこととなりますが、水には限りがあり、お届けできる水量は必要最低限のものとなります。



地震に備えて僕たちができることはないの?

皆さんができることはあります。
飲み水は、1人1日3リットルを目安に最低3日分を確保しておくといいですね。
また、配られた水を運ぶための容器の準備や**近くの応急給水拠点を確認**しておきましょう。
(応急給水拠点については水道だより1面を参照)



【お問い合わせ】施設課浄配水・計画担当